

Mammography

●ジャンプメニュー

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会

マンモグラフィ乳癌検診の精度管理について検討し管理運営を行います

新着情報

- 第1回マンモグラフィ技術指導者研究会の詳細を掲載しました。
- 12/10撮影有資格技師リストを更新しました。
- 12/5マンモグラフィ講習会開催予定を更新しました。
- 11/29マンモグラフィ検診施設画像認定施設リストを更新しました。
- 11/20読影医師リストを更新しました。

マンモグラフィ特撮ビデオ・DVD

既内付含巻で販売中

試映してみたいかお申し込みですか？

▶click! 監修: 夏井博士 遠藤登喜子

- マンモグラフィ検診精度中央委員会とは?
- マンモグラフィ検診精度管理委員会とは?
- マンモグラフィ講習会開催予定
- マンモグラフィ講習会
- マンモグラフィ試験
- マンモグラフィ試験成績報告書
- 施設画像評価申し込みのご案内
- 検診マンモグラフィ読影医師リスト
- 検診マンモグラフィ撮影有資格技師リスト
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 読影リスト・技師リスト新編・更新フォーム

マンモグラフィ用
ジャウカステン共同購入のご案内

お問い合わせ

マンモグラフィ講習会および試験の受講料および受験料改定のお知らせ(2003年8月19日)

リンク

Mammography

●ジャンプメニュー

◎ Top

マンモグラフィ読影医師リスト

北海道・東北地方

関東地方

中部地方

近畿地方

中国地方

四国地方

九州・沖縄地方

※所属施設が変更になった場合はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会事務局までご連絡下さい。

読影リスト・技師リスト 新編・更新依頼フォーム

平成15年11月20日現在

マンモグラフィ検査精度管理中央委員会 ●ジャンプメニュー

Top Map マンモグラフィ読影医師リスト

四国地方

愛媛県
高知県

徳島県

名前	勤務先
井川 洋	JA 徳島厚生連 麻植共同病院 産婦人科
大嶺 裕賢	JA徳島厚生連阿波病院 外科
藤原 晴夫	JA徳島厚生連阿波病院 外科
高橋 久壽	JA徳島厚生連麻植協同病院 産婦人科
今宮 孝亮	JA麻植協同病院 外科
笹 三徳	とくしまプレストケアクリニック
田中 隆	阿南医師会中央病院 外科
井上 光郎	井上医院
高橋 雅子	稲山病院 放射線科
吉田 明義	沖の洲病院 併設 健診センター
若田 智子	吉村内科小児科

マンモグラフィ検査受診者数の推定
50～69歳の女性(平成7年国勢調査)
15,807,523人 約240万人/年
・受診率30%
・2年に1回
・70歳以上の女性の受診考慮

乳がん検診成績

(日本対ガン協会集計、2002年)

検診方法(38支部)	乳癌発見率	
視触診のみ(31)	0.08%	498例/604,333人
視触診+超音波検査(10)	0.12%	88例/70,749人
視触診+マンモグラフィ(27)	0.22%	887例/397,781人
総計 (38)	0.14%	1,473例/1,072,953人

マンモグラフィ検査受診率
45万人/1,580万人(2.8%)

地域保健・老人保健事業報告

(厚労省統計情報部、平成13年度)

視触診のみ	0.11%	3,055例/2,830,296人
視触診+マンモグラフィ	0.19%	853例/448,916人

欧米のマンモグラフィ検診受診率

アメリカ(DHSS,1994)	40歳以上,	60.9%
オランダ(国家政策,1990)	50-69歳,	77.5%
イギリス(NHS,1988)		75%程度
スウェーデン(国家政策)		80%程度
ノールウェー(国家政策)		79.5%

60～80%

老健法による乳癌検診(全国平均)	12～13%
マンモグラフィ検診受診率	3%(推定)

マンモグラフィ検診の今後の課題

- 1.検診実施主体(自治体)の認識と検診受診者への十分な説明
無症状の受診者, 公的資金の確保, 自己負担金の増加
- 2.検診実施機関と読影医師の確保(読影体制作り)
精中委と都道府県の精度管理システムの連携
- 3.都道府県の検診精度管理システムの確立と社会的認知
検診結果に対する精度管理が必要
地域・職域検診, 個別検診別の把握
検診受診率・発見率, 発見癌の病期分類等の把握
検診実施機関へのフィードバック
- 4.如何にして受診率を向上するか
自治体・受診者の検診に対する認識を高める
検診費用の確保
5. 40-49歳台へマンモグラフィ導入
2方向撮影, 視触診併用等

新たながん検診手法の有効性の評価報告

(厚生労働省久道班、2001.3)

視触診単独による乳癌検診:

死亡率減少効果がないとする、相応の根拠がある(I c)

視触診とマンモグラフィ併用による乳癌検診 (50歳以上):

死亡率減少効果があるとする、十分な根拠がある(I a)

視触診とマンモグラフィ併用による乳癌検診 (40歳台):

死亡率減少効果があるとする、相応の根拠がある(I b)

超音波検査による乳癌検診:

死亡率減少効果を判定する適切な根拠となる研究や報告が現時点で見られないもの(II 群)

対象年齢別乳癌検診の方法と間隔

(厚生労働省大内班, 2003.11.6)

	40-49歳	50-59歳	60歳以上
方法	マンモ2方向撮影 視触診(超音波検査)	マンモ1方向撮影 視触診	マンモ1方向撮影 (視触診)
間隔	隔年	隔年	隔年

參考資料

精度管理システム

乳癌検診関連6学会

日本乳癌検診学会、日本乳癌学会

日本医学放射線学会、日本産婦人科学会

日本放射線技術学会、日本医学物理学会

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 (精中委・委員長 森本忠興)

教育・研修委員会 (委員長 遠藤登喜子)

1. マンモグラフィ講習会・試験
医師(読影)、診療放射線技師(撮影技術・管理)
に対して成績認定証発行
2. マンモグラフィ読影試験
講習会受講者に対するレベルアップ目的
3. マンモグラフィ指導者研修会
資格更新

施設画像評価委員会 (委員長 岡崎正敏)

1. 画像評価
 - 1) 書類審査
 - 2) 画像評価
 - ・フアントム(RMI156)画像評価
 - ・臨床画像評価
 - 3) 線量測定(ガラス線量計による)
2. 総合評価結果より
施設画像認定証発行
画質向上のサポートと再評価

ホームページURL : <http://mammography.jp/>

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（以下、精中委）の設立経緯

- 1) 平成 9 年 1 月 9 日、精中委の設置が、日本乳癌検診学会理事会において決定された。精中委は、厚生省研究班大内班で検討された精度管理システムであり、その構成は、日本乳癌検診学会、日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本放射線技術学会、日本医学物理学学会の検診関連 6 学会（設立当初は日本医学物理学学会、日本医学放射線物理学学会の 7 学会であったが、両学会は統合された）から推薦された委員より成り立っている。日本乳癌検診学会をメインスポンサーと位置付けている。予算は、受講料等の受益者負担で、学会補助金等で対応してきた。本委員会には教育・研修委員会と施設・画像評価委員会の二つの小委員会が設置されている。
- 2) 平成 11 年 3 月から、教育・研修委員会は、精中委主催のマンモグラフィ指導者講習会開催し、精中委主催ならびに他の団体との共催でのマンモグラフィ講習会を全国規模で年間に約 40 回行っている。
- 3) 平成 12 年 3 月 31 日、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（老健 65 号）が出され、わが国の乳癌検診にマンモグラフィ導入検診が勧告された。この厚生労働省の指針の中に精中委が他臓器癌検診には見られない制度管理システムとして認知された。
- 4) 平成 13 年 4 月から、施設・画像評価委員会は、施設・画像評価を開始した。
- 5) 平成 15 年 12 月 31 日現在、医師および技師のマンモグラフィ講習会受講者は、各々約 3700 名、3400 名である。読影や撮影を行うのに十分な実力のあると認定されたものは各々約 2700 名、2000 名である。また、215 施設について施設・画像評価がなされ、約 90%の施設が合格評価を得ている。これらの医師名、診療放射線技師名および施設名については、本人承諾後に精中委のホームページで都道府県別に公開されている。精中委の事務局は、日本乳癌検診学会事務局（聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科内）にあり、精中委のホームページ（<http://www.mammography.jp/>）を公開している。現在、精中委は NPO 法人申請中である。

1.マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（精中委）及び各種委員会の構成

（平成15年11月20日現在）

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会（精中委）の構成メンバー

委員長：森本忠興（日本乳癌検診学会、徳島大学医学部保健学科）

副委員長：福田 護（日本乳癌検診学会、聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科）

委員：遠藤登喜子（日本医学放射線学会、国立名古屋病院放射線科）

岡崎正敏（日本医学放射線学会、福岡大学医学部放射線医学）

大内憲明（日本乳癌検診学会、東北大学医学部腫瘍外科学）

東野英利子（日本医学放射線学会、筑波大学臨床医学系放射線科）

永井 宏（日本産科婦人科学会、永井病院（日本産婦人科医会））

土橋一慶（日本産科婦人科学会、千川産婦人科医院）

堀田勝平（日本乳癌検診学会、愛知県がんセンター放射線診断部）

梶谷典子（日本放射線技術学会、倉敷成人病センター放射線部）

木村千明氏（日本放射線技術学会、名古屋掖済会病院放射線部）

今村恵子（日本医学物理学会、聖マリアンナ医科大学放射線科）

岩瀬拓士（日本乳癌学会、癌研究会附属病院乳腺外科）

横江隆夫（日本乳癌学会、渋川総合病院）

顧問：富永祐民（日本乳癌検診学会理事長、愛知県健康づくり振興事業団健康科学総合センター）

飯沼 武（放射線医学総合研究所）

坂元吾偉（癌研究会癌研究所病理）

本委員会の中に以下の二つの委員会を置く

(1) 精中委・教育研修委員会、構成メンバー

委員長：遠藤登喜子（日本医学放射線学会、国立名古屋病院放射線科）

委員：岩瀬拓士（日本乳癌学会、愛知県がんセンター乳腺外科）

大貫幸二（日本乳癌検診学会、東北大学腫瘍外科学）

大村峯夫（日本産科婦人科学会、東京都がん検診センター婦人科）

古妻嘉一（日乳癌検診学会、古妻クリニック）

永井 宏（日本産科婦人科学会、永井病院）

角田博子（日本医学放射線学会、東京都立府中病院放射線科）
東野英利子（日本医学放射線学会、筑波大学臨床医学系放射線科）
堀田勝平（日本乳癌検診学会、愛知県保健センター放射線科）
寺田 央（日本放射線技術学会、元大阪警察病院放射線科）
梶谷典子（日本放射線技術学会、倉敷成人病センター放射線部）
木村千明氏（日本放射線技術学会、名古屋掖済会病院放射線部）

顧問：森本忠興（マンモグラフィ検診精度管理中央委員会委員長、徳島大学医学部保健学
科）

（2）精中委・施設画像評価委員会、構成メンバー

委員長：岡崎正敏（日本医学放射線学会、福岡大学医学部放射線医学）

委員：東野英利子（日本医学放射線学会、筑波大学臨床医学系放射線科）

福田 護（日本乳癌学会、聖マリアンナ医科大学乳腺内分泌外科）

木村千明氏（日本放射線技術学会、名古屋掖済会病院放射線部）

堀田勝平（日本乳癌検診学会、愛知県保健センター放射線科）

今村恵子（日本医学物理学会、聖マリアンナ医科大学放射線科）

土橋一慶（日本産科婦人科学会、千川産婦人科医院）

梶谷典子（日本放射線技術学会、倉敷成人病センター放射線部）

寺田 央（日本放射線技術学会、元大阪警察病院放射線科）、

王丸明子（日本放射線技術学会事務取り扱い）、

遠藤登喜子（日本医学放射線学会、国立名古屋病院放射線科）

顧問：森本忠興（マンモグラフィ検診精度管理中央委員会委員長、徳島大学医学部保健学
科）

マンモグラフィ検診精度管理中央委員会読影講習会
講習受講者数 (平成15年12月31日現在)

専門科	A	B	C	D	合計
外科	353	1,361	411	97	2,222
放射線科	144	543	81	16	784
産婦人科	14	233	208	95	550
その他	10	93	42	25	170
合計	521	2,230	742	233	3,726

県 評価	A	B	C	D	合 計	県 評価	A	B	C	D	合 計
北海道	14	69	23	6	112	滋賀	17	43	13	5	78
						京都	17	110	51	14	192
青森	2	22	10	6	40	大阪	36	166	40	26	268
岩手	13	50	22	6	91	兵庫	11	54	14	2	81
宮城	28	135	93	23	279	奈良	5	35	12	0	52
秋田	9	70	17	3	99	和歌山	7	43	11	1	62
山形	11	69	15	5	100						
福島	10	68	19	4	101	鳥取	5	42	7	2	56
						島根	9	48	10	0	67
茨城	7	16	2	1	26	岡山	15	43	9	2	69
栃木	4	17	8	3	32	広島	7	57	18	3	85
群馬	13	58	23	16	110	山口	3	45	17	6	71
埼玉	10	36	12	5	63						
千葉	15	82	20	9	126	徳島	15	27	9	1	52
東京	32	107	37	18	194	香川	5	12	7	2	26
神奈川	23	109	71	21	224	愛媛	9	13	6	3	31
山梨	1	10	4	0	15	高知	7	14	2	1	24
長野	13	42	9	2	66	福岡	14	42	6	2	64
新潟	10	46	19	6	81	佐賀	2	4	1	2	9
						長崎	1	12	3	1	17
富山	4	39	6	2	51	熊本	4	20	8	0	32
石川	12	32	7	3	54	大分	4	9	3	1	17
福井	7	33	10	3	53	宮崎	5	11	2	1	19
岐阜	9	26	5	0	40	鹿児島	3	22	4	0	29
愛知	43	63	10	3	119	沖縄	3	29	5	1	38
静岡	18	53	27	8	106						
三重	9	77	15	4	105	合 計	521	2230	742	233	3726

県 評価	A	B-1	B-2	C	D	合 計	県 評価	A	B-1	B-2	C	D	合 計
北海道	28	17	22	42	29	138	滋賀	19	15	19	21	6	80
							京都	30	17	28	37	7	119
青森	16	9	8	7	4	44	大阪	58	51	37	59	29	234
岩手	4	7	6	11	9	37	兵庫	22	13	18	25	9	87
宮城	5	9	12	17	17	60	奈良	13	7	13	15	20	68
秋田	8	9	7	9	4	37	和歌山	0	3	7	5	2	17
山形	12	13	10	31	11	77							
福島	32	21	31	26	16	126	鳥取	4	1	2	2	5	14
							島根	9	6	4	6	4	29
茨城	7	22	13	14	7	63	岡山	12	22	22	19	10	85
栃木	9	10	7	10	4	40	広島	21	21	17	19	14	92
群馬	12	18	16	21	4	71	山口	8	9	18	24	18	77
埼玉	36	14	17	20	6	93							
千葉	26	17	21	16	5	85	徳島	4	7	16	9	5	41
東京	42	27	36	44	39	188	香川	9	8	5	10	9	41
神奈川	27	21	33	33	33	147	愛媛	5	6	7	14	8	40
山梨	2	6	6	6	4	24	高知	3	5	7	11	4	30
長野	7	9	18	23	17	74	福岡	21	21	16	22	7	87
新潟	12	13	23	22	11	81	佐賀	2	1	4	7	3	17
							長崎	1	4	4	7	7	23
富山	13	4	9	10	4	40	熊本	1	2	2	5	2	12
石川	33	20	22	17	9	101	大分	3	3	2	1	1	10
福井	11	10	6	10	4	41	宮崎	8	6	3	0	4	21
岐阜	10	11	16	8	1	46	鹿児島	4	4	5	13	5	31
愛知	50	35	30	41	19	175	沖縄	8	7	4	14	21	54
静岡	25	25	27	34	20	131	不明	2	1	2	2	2	9
三重	17	17	22	31	12	99	合 計	711	604	680	850	491	3336

施設画像評価結果

評価施設数(2001.6.10～2003.12.6) 242施設(250台)

評 価	施 設 数
A	139(144)
B	80(83)
C	14
D	9
総計	242(250) ()内は台数

再評価施設(10施設)

C→A(5施設) B→A(1施設) C→B(2施設) D→A(2施設)

ホームページに公開されている県別の施設画像認定施設数（219施設）

平成15年12月現在

	県名	認定施設数
北海道 東北地区	北海道	7
	青森県	1
	秋田県	3
	岩手県	2
	山形県	7
	宮城県	11
	福島県	12
関東地区	群馬県	8
	栃木県	3
	埼玉県	5
	茨城県	7
	東京都	13
	千葉県	11
	神奈川県	14
中部地区	新潟県	0
	富山県	5
	石川県	6
	長野県	5
	福井県	4
	山梨県	1
	岐阜県	8
	愛知県	6
	静岡県	7

	県名	認定施設数
近畿地区	京都府	6
	兵庫県	5
	大阪府	20
	滋賀県	1
	三重県	3
	奈良県	1
	和歌山県	3
中国地区	岡山県	8
	島根県	4
	鳥取県	2
	山口県	1
	広島県	2
四国地区	徳島県	3
	香川県	2
	高知県	2
	愛媛県	0
九州地区	佐賀県	0
	長崎県	0
	福岡県	3
	大分県	0
	熊本県	1
	宮崎県	2
	鹿児島県	3
	沖縄	1